

2020年8月14日

水害に対して、屋内で浮いて助かる！ 画期的な救命用具「担架ボート PUKA」の取り扱いを開始！

「サービス付き高齢者向け住宅」の取り扱いでお馴染みの株式会社コミュニティネット(本社:東京都新宿区 代表取締役社長 須藤康夫)では、この度、水害時に自ら避難できない要介護者向け救命用具「担架ボート PUKA」の販売を開始しました。

「担架ボート PUKA」は、東日本大震災における津波の教訓から生まれた、要介護者など避難行動を自らできない要支援者向け救命用具です。一般的なゴムボートとは異なり、寝たきりの大人が一人横たわることができるコンパクトサイズ。ボートの前後下部に取っ手が付き、上階等への移送担架としても使えます。

最近の集中豪雨による河川の洪水で、多くの要介護高齢者の方が介護施設や自宅で被害に遭われました。そのニュースに接するたびに、“PUKA があったら助かったのに”と思わざるを得ませんでした。

いざという時、足踏み式ポンプで3~4分、電動ブロウを使えば1~2分程度で膨張させることができ、収納時はスポーツバック程度の大きさで、大人一人でも簡単に持ち運べます。

介護施設や障がい者支援施設はもとより、病院や公共施設などに備えていただく、また、水害警報時、独居高齢者のサポートに向かう近隣の支援員・協力者に携行してもらえれば、要支援者の生存率が高まります。また、短時間で準備が可能なので、時間がない津波からの避難や急激な浸水時には支援員・協力者の共倒れの被災も防ぐことができます。



『担架ボート PUKA』の概要と特徴

仕様 : 素材 強化ゴム サイズ 全長 2.240mm、全幅 870mm、重量 8.75kg
 使用荷重 : 1人(横たわったとき) 2~3人(座乗時 最大約 200kg 程度)
 販売価格 : 予価 220,000 円(消費税込み)
 販売 : 株式会社 コミュニティネット
 製造 : アキレス株式会社
 防災安全協会: 「防災製品等推奨品証」取得済み 特許申請中

<特徴> 水害時自ら避難行動のとれない要支援者向け救命用具「担架ボート PUKA」の特徴は…

- ① 垂直避難用の救命用具として、要支援者1名が横たわれる
- ② 担架として要支援者を乗せて、安全な場所(上階)に移送できる
- ③ 携行バックから取出しセッティングまで、一人でも短時間で可能
- ④ 強化ゴム素材で浮力も約 200kg あり、一般の救命用具としても活用可

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社コミュニティネット 事業推進部 担当: 杉野(メール: t_sugino@c-net.jp)
 近藤(メール: k_kondo@c-net.jp)

電話 03-6256-0574 FAX03-6256-0575

郵便番号163-0725 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル25階